九州地方（火山との生活，歴史）

ポイント1 火山との生活

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 九州地方の火山と影響（えいきょう）

資料1 火山の噴火（鹿児島県）

九州地方には多くの火山があり，現在も活発に活動している

桜島（さくらじま）（鹿児島県）

1990年　雲仙岳（うんぜんだけ）（長崎県）の噴火（ふんか）

2011年　霧島山（きりしまやま）（宮崎県，鹿児島県）の噴火

噴石（ふんせき）や火砕流（かさいりゅう）などで大きな被害

シラス台地：火山灰が厚く積もった台地（主に九州南部に広がる）

シラスは軽くて水を通しやすいため水はけがよい

↓

農地には基本的に不向き

大雨が降ると崩れ**土石流（どせきりゅう）**などが起こりやすい

↓

ダムの建設，適切な間伐（かんばつ），

ハザードマップ（防災マップ）の作成などで対策

② 火山の利用

資料2 八丁原地熱発電所（大分県）

別府（べっぷ）・由布院（ゆふいん）（大分県）などの**温泉**も多い

日本の4割の**地熱発電所**が九州にあり，

└ 地中の熱を利用して電気をつくる発電所

再生可能エネルギーの生産を行っている

【例】八丁原（はっちょうばる）地熱発電所（大分県）

ポイント2 歴史

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 九州地方の歴史

九州は大陸に近い位置にあるため，古くから中国や朝鮮半島との交流窓口となる
【例】遣隋使（けんずいし）・遣唐使（けんとうし）など

現在，福岡は航空機や船舶でアジア諸国と結ばれている

② 沖縄の歴史

時期	できごと
室町時代以降	琉球王国（りゅうきゅう）として中国，朝鮮，東南アジアなどと交易 独自の文化を築く
江戸時代	薩摩藩（さつまはん）によって支配される（日中両属）
明治時代	日本へ編入され沖縄県となる
太平洋戦争	戦争末期に地上戦が展開される 戦後アメリカ軍が直接統治
1972年	日本に返還

現在，沖縄は観光業や米軍関連産業など第三次産業の割合が高い

資料3 首里城（しゅり）（沖縄県）

※2019年に焼失

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 火山灰が厚く積もった台地を何というか。　**シラス台地**

(2) 地中の熱を活用して電気をつくる発電所を何というか。　**地熱発電所**

(3) 室町時代以降に沖縄に成立した王朝は何か。　**琉球王国**

(4) 太平洋戦争後，アメリカ軍が直接統治していた沖縄が日本に返還されたのはいつか。　**1972年**